

記者発表資料
平成30年9月13日
公立大学法人宮城大学
地域連携センター
担当：庄子，植嶋，遠藤
電話：022-377-8319

宮城大学交流棟公開イベントについて

宮城大学では、大和キャンパス交流棟を地域に開かれた玄関口にふさわしい多用途空間として、活気ある活動を行うために環境整備を進め、この度、改装を終える運びとなりました。今後は、更に地域の発展に寄与貢献致したいものと意を強めているところです。

つきましては、下記により「交流棟公開イベント」を開催いたしますので、ぜひ取材していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成30年9月26日（水） 14:00～16:30
- 2 場所 宮城大学大和キャンパス 交流棟2階オープンスタジオ
- 3 次第

第一部（14:00～14:40）

オープンスタジオ「PLVS VLTRA - (プラス・ウルトラ)」の紹介
地域連携センターによる産学官金連携の紹介
産学官連携事例の紹介<企業と共同開発した商品や取り組み>

- ① 「山元いちご農園への商品開発支援」
- ② 「花見台自動車への商品デザイン支援」

第二部（14:50～15:30） 本部棟各コモンズ見学会

スチューデント → グローバル → ディスカバリー → シアター

※コモンズとは、学生の主体的な学びの空間、学生の集う場、知の交流空間です。

第三部（15:40～16:30） <連携成果品の展示、試食会>

- ① 「ロールティラミス」
- ② 「豆乳を使用したクリームチーズ様食品の開発」
- ③ 「山元町産いちごのワイン、大学の日本酒」
- ④ 「学生の復興支援チームによるメニュー開発」
- ⑤ 「坪沼米と豚肉」
- ⑥ 「学生と教職員による震災復興の支援活動」
- ⑦ 「震災復興：森の学校のコミュニティデザイン」
- ⑧ 「商品（製品&広告等）に関わるデザイン開発」
- ⑨ 「岩出山プロジェクト/寺岡・紫山マップ作成」
- ⑩ 「ひととき展：「時間」をテーマにした体験型展示会」
- ⑪ 「パラメトリックデザインによる椅子の制作」
- ⑫ 「環境に配慮し、トウモロコシ澱粉とプラスチックを複合させた食品容器」 (株)コバヤシ

4 参集範囲

宮城県、宮城県議会、宮城県内市町村、連携協定締結団体、関連団体・機関など 約70名

なお、第三部では宮城大学と県内企業が連携した成果品を試食することとして、立食形式のレセプションをご用意しています。また、レセプションでは、交流棟3階応接ラウンジも公開する予定です。